



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)
3月卒業号



3年生の 君は、読書感想文をこう締めくくった。
『今まで僕は自分に甘かったり、人の言葉を気にし過ぎたりするところがあった。でもこれからは信念をもって、前へ前へと進んでいく人間になりたい』

野口健さんの「100万回のコンチクショー」に学んだその感想文は、市長賞に輝いた。

君の心をとらえた野口さんのコンチクショーは2つあった。その1つは、「落ちこぼれの自分から脱出



してみせる」というコンチクショー。もう1つは、「日本人を見くびるな」というコンチクショーだ。

この2つのコンチクショーは、7大陸最高峰登山最年少記録の誕生日、自ら始めたエベレスト清掃登山で、仲間とともに8トンのゴミを回収するという前代未聞のプロジェクトの達成で結実した。

『その気になれば何でもできる』野口さんの言葉は、君に地域のボランティア活動への参加を促し、

大好きな野球への思いも膨らませた。信念をもち、挑戦することへ自ら舵を切ったのだ。その姿は、今年の生徒会テーマ「立ち上げれ自分!」を形にする姿でもある。

このテーマは、自ら行動を起こすことを自分自身に命じた骨のあるテーマだ。ゆえに、目標や夢、あこがれる何かを手に入れようとする強い気持ちが必要となる。

『西三、東海、そして全国へ行きたい』『葵の舞10年目、先輩を越えたい』『ボランティアで地域の役に立ちたい』

『輪太鼓の響きを雄勝の空まで届けたい』その1つ1つに答えを出しながら、歩みを進めた3年生。自分の殻を破り、その一歩を踏み出す姿は本当にカッコよかった。

人生を幸せにする1つに、あこがれる人との出会いがある。その出会いは、君の立ち上がる力を本物にする。そして、立ち上がった君の姿は、共感を呼び、そこに友が集まり、輪ができ、やがて君自身があこがれる人となる。野口さんもまた、その1人なのだ。

3年生、224名は立派に成長した。明日からは次のステージへと活躍の場を移す。更なる飛躍を祈りつつ、晴れの門出を祝いたい。3年生のみなさん。心から卒業おめでとう。



3年間の思い出

1年生

思い出になった海の学習

三年四組

私がいちばん印象に残ったのは、貝を使ってクラフト制作をしたことです。自分の足で磯まで行って、自分で貝を拾い、鏡に付きました。

拾った貝で鏡の装飾をするだけでしたが、美浜の海をイメージしながら作ることで、自分ならではの鏡に仕上がりました。中学校でのよい思い出もなかった鏡なので、今でも大切に使っています。

海の学習の思い出が、大人になっても色あせないものになっていたらいいなと思います。

2年生

職場体験で学んだこと

三年一組

僕は職場体験でフイットネスクラブに行きました。体験してみても、働くことのやりがいを感じました。

室内温水プールの監視員の体験をしたとき、室内がとても暑く、集中力が何度も切れそうになりました。しかし、人の命に何かあったらいけないと思い、最後まで監視を頑張りました。すると職員の方が褒めてくれ、やりがいを感しました。頑張っ

てよかったです。

これから仕事に就くときには、やりがいを感じられる仕事を見つかけたいです。

晴れ晴れとした達成感

三年三組

二年生の夏のコンキールの課題曲は、明るい雰囲気のマーチでした。担当楽器のシンバルは難しく、練習しても私だけが周りから取り残されていくような感じがしていました。

そんなときに、私を救ってくれたのは、先生や先輩方の「大丈夫」という言葉でした。本番では晴れ晴れとした気持ちで舞台上に立ち、練習中の苦しきからは想像もつかない程の大きな達成感を得ることができました。

私はこれからも、たくさんの音楽を作り上げていきます。

黒船太鼓でよかつた

三年一組

完璧に叩けたときの喜びと清々しさ。先生からの指導に対する思い。雄勝の子への強い気持ち。できないことへの不安。一打一打に込める思いは全員違いますが。気が付けば、初めは苦戦しながら覚えたりリズムも体の一部のように染みつき、何気なく指で刻むみんなの姿を見ると、やっとう学年が一つになれたと安心感と喜びがありました。自分の背中から合わさった全員の力強い音が響いたとき、もう二度と経験できないような大きな感動がこみ上げてきました。

仲間と共に成長した三日間

三年三組

スキー研修の三日間は、私にとって

とても大切な思い出です。スキー実習では仲間と助け合って楽しく滑り、あまり話したことなかった子とも仲良くなることができました。また、立志の式では今の自分とじっくり向き合い、将来に向けて自分自身を見つめ直すことができました。

仲間と共に過ごしたスキー研修は、クラスや学年の絆を深め、自分を成長させるとてもよい機会になりました。この思い出は一生忘れません。

3年生

いやー、楽しかった!

三年二組

修学旅行。それは三年間で最後の一大イベント。いろいろ苦労しましたが、一番苦労したのが、班別行動の計画でした。夕食の時間に間に合うようにすべての計画を円滑に進めなければいけません。「この時間で大丈夫かな」「間に合うかな」と終始思っていました。でもみんなと都内を歩いて楽しかったです。謎の韓国人Bonjonoと会ったり、集英社に早く着きすぎたりしたり、結構楽しかったです。最後はしっかりと時間通りに集合場所に行きました。自立と東京を知るいい修学旅行でした。

葵の舞から学んだこと

三年六組

体育大会の一番の思い出は、葵の舞です。初めは、ただ踊りを踊るだけでした。しかし、先生や友達のアドバイスを受け、練習に取り組む姿勢が変わりました。ただ踊るのではなく、伝統

の重みを感じ、自分たちしかできない葵の舞にするために、キレや表情にもこだわって練習に取り組むようになりました。葵の舞を通して、練習に取り組む姿勢や仲間の大切さを改めて学ぶことができました。

苦労からの喜び

三年五組

私は、三年生で初めて合唱のパートリーダーを任せられました。練習が始まったときはクラスの子が話を聞いてくれた、何度もやめたいと思いましたが、でもリーダーを任せられたからには最後までやり抜こうと思い、諦めずに全力でリーダーの役目を果たしました。その結果、優秀賞を取ることができ、クラス全員で喜びました。「ありがとう。上手だったよ。」などの言葉をもらったときはうれしかったです。あのとき諦めなくてよかったと実感しています。

自分たちで計画した修学旅行

開発三年

三年間の一番の思い出は修学旅行です。班別活動では開発クラスの友達と計画して、上野動物園と国立科学博物館に行きました。上野動物園ではパンダのシャヤンヤンを見ることができました。うれしかったです。デイズニールランドでは、みんなを引っ張って園内を回りました。途中で行き方や時間を相談しながら、楽しく計画的にアトラクションに乗ることができてよかったです。

卒業生に贈る言葉

素敵な二・四名と出会えて

三年主任 波江野 寛之
 教員人生、初めて三年間ももち上がった学年。みんなの目・顔・声そして心。目には見えないけれど、形には残らないけれど、共に努力し、笑って、怒って、喜んでみんなと先生にしかわからないこの三年間。本当に居心地のいい学年でした。みんなと過ごした日々が先生の宝物。みんなの幸せを心から祈っています。卒業おめでとう。

素晴らしい学年

進路指導 鈴木 貴章
 飛び込みで入ったこの学年。あなたたちは本当にエネルギーでパワフルでした。そして行事での盛り上がりはもちろん、部活動の活躍、授業中の集中した学習への取組。まさに文武両道を貫く学年でした。進路を自己決定したように、これから的人生は与えられるものではなく、自らが切り開いていくもの。何が大切なのかをしっかりと見極めてこれからの人生を歩んでいこう。卒業おめでとう。

心から感謝

副主任 中村 証代
 初めての三年間ももちろん、毎日が楽しく、授業も楽しく、長い教員生活の中でも

体も元気になる学年でした。卒業なんて来なければいいと何度思ったことか。たくさんのお返しと笑いにあふれた幸せな日々を送ることができたことに心から感謝します。ありがとう。この先の人生、楽しいことがたくさんあります。君たちの持前のPOWERで自分も周りも元気にし、明るい人生を送ってくださいな。また、会いましょう！

二度目の卒業式とどう奇跡

一組担任 岩野 慎也
 井田小学校でみんなの学年を担当した六年前。四年生だったみんなの幼さが今でも先生の記憶に残っています。かわいらしかったな。

最高学年として頼もしく感じた三年前。中学へ旅立つみんなの姿を見て、卒業式でたくさん泣いてしまいました。でも、このときは、思ってもいませんでした。まさか、葵中学校に転任し、この学年とまた関われるとは。そして、今。みんなにとっても、先生にとっても二度目の卒業式。こんな経験ができる教師は数少ないと思うのとて幸せです。小学校、中学校を含め、楽しい四年間をありがとう。そして、卒業おめでとう。

幸せは自分でつかめ!

二組担任 兵藤 由季
 三年前、あんなに幼くてあどけなかったあなたたち。三年経ったら、私よりも背が高い

子があちこちにいました。身体だけでなく、心も大きく成長して、立派になりましたね。これからは、自分の人生を自分で切り拓いていきます。立派な大人になった姿でまた会えることを楽しみにしています。元気でね!

これらが楽しいな三年生へ

三組担任 坊田 千里
 私がこの一年間、葵中学校で過ごしてきたいちばん強く感じたのは、これまでみんなの中に築き上げられてきた学年全体の団結力でした。とても仲が良くて、でも一人一人がちゃんと自分の意志をもっている。そんな三年生でした。これから、それぞれの道でどんな活躍を見せてくれるかとても楽しみです。一年間どうもありがとう。卒業おめでとう。

優しい人であれ

四組担任 勝本 卓也
 この学年のよいところは、人に優しくできるところです。困っている仲間のために考えて行動できましたね。そんな微笑ましい光景から私も元気をもらい、何度もう頑張ろうと思いました。人に優しくできたら、その優しさが必ず自分に返ってきます。誰もが持つ「よさ」を見つけ、その「よさ」を認められる人であり続けて下さい。卒業おめでとう。

出会いに感謝!

五組担任 目黒 真一
 四月に海部地区から岡崎市に異動してきました。そんな新しい環境で慣れなかった三年生のみんなに本当に感謝しています。また、特にハンドボール部のみんなとは最高に燃えあがることができました。ありがとう。人は出会いで成長します。これからの出会いを大切に!感謝です!

未来に向かって

六組担任 小林 怜司
 三年間、この学年に関わることができたことに感謝しています。私自身、上手くいかないときに自分に言い聞かせる言葉があります。『どれだけ望んでも過去だけは変えられない。変えられるとしたら、今、そして未来。』という言葉。きっとみなさんにも一歩踏み出す勇気を与えてくれると思います。未来を切り開くのは自分次第。みんなの活躍を心から願っています。

笑顔という財産を大切に

開発担任 古家 茂枝子
 元気な挨拶、何事にも一生懸命な姿、仲間を思う優しい心、向日葵のような笑顔。どれもみんなにとってかけがえのない財産です。何事もできるまでには多くの努力が必要になるだろうけれど、その

先には必ず成長した自分がいるはずで
す。乗り越えられないときは、仲間と
一緒に乗り越える努力をしよう。一步
一歩前進するみんなをいつまでも応援
しています。卒業おめでとう。

可能性は無限大

開発担任 中根 大登

君たちと挨拶をする
となぜか自然と笑顔に
なりまして。そんな不思議な
力を持った君たち
から多くのパワーをもらいました。苦
手なことにも諦めずに挑戦する姿、盛
り上がるときの爆発力、そしてとにか
く素直な心。どれも素敵な才能だと思
います。君たちの可能性は無限大です。
どんな人生を歩むのが楽しみにしてい
ます。卒業おめでとう。そして出会っ
てくれてありがとう。

You are my treasure.

三年副担任 平石 汐里

私の教員人生の「原
点」はみんなでした。
初めて三年間英語の授
業をしたこと。初めて
クラスを持たせてもらったこと。そし
て：初めて卒業生を送るのがみんなだ
でした。本当に毎日が幸せでした。みん
なの笑顔、優しさ、強さが大好きです。
持ち前の明るさで、みんならしく前向
きに進んでくれてるよ。I'm proud
of you. Thank you for meeting me.
I hope you will be happy forever.
Congratulations!

先輩方がすごかったです

三年生の姿

二年七組

何事にも熱心に取り組み姿。勉強・
部活・学校行事に熱心になる姿。そんな
先輩方にはいつも、ワクワク、ドキ
ドキしていました。体育大会の葵の舞
では迫力ある姿に心が震えました。そ
んな先輩方が作り上げた葵中学校の伝
統を、僕たちが二年生がきちんと受け継
いでいきます。今までたくさん感動
や憧れを与えてくださり、本当にあり
がとうございました。これからも夢を
持ち続け頑張ってください。

三年生のおかげで

一年八組

三年生の姿で印象に残っているのは
体育大会です。僕たち一年生は緊張し
て、どのように体育大会に臨めばよ
いのか分からなかったのですが、三年生
が中心となって応援を考え、上手に盛
り上げてくれていました。また、係活
動では仕事の仕方を丁寧に教えてくれ
るなど、とても頼りになりました。こ
の一年、体育大会をはじめとして、様々
な行事が充実したのものになったのは三
年生のおかげです。僕たちも三年生の
良さを受け継いでいきたいです。

かっこいい先輩たち

開発二年

先輩方は僕が困っているときに優し
く接してくれました。大きな声でいろ
んな人に挨拶もできていたので、そっ

いう先輩になれるように頑張ってい
たいです。

開発二年

体力テストの反復横跳びを素早くで
きているところを見て「かっこいいな
」と思いました。葵祭りと一緒にいろ
んなゲームに挑戦して楽しかったです。

表彰の記録

おがぎアンサンブルコンテスト

木管三重奏

金管八重奏

奨励賞

市読書感想文コンクール

県読書感想文コンクール

奨励賞

愛知図書館協会賞

四月の予定



六日(月) 新三年準備登校

七日(火) 新任式・入学式・始業式

八日(水) 学級写真・弁当持ち

九日(木) 給食開始・火災避難訓練

十日(金) 委員会

十一日(土) 退任式

十二日(日) 生徒議会

十三日(月) 全国学力・学習状況調査

十四日(火) 新入生歓迎会

十五日(水) P.T.A総会 授業参観

十六日(木) 学級懇談会

十七日(金) 授業参観代休日

十八日(土) 写生会

※四月の予定については変更になる場合があります

お詫言

「学校新聞一二月号の本の紹介で「夢を
かなえる象」が抜けていました。誠に申
し訳ございませんでした。

葵が丘



その一言で

二年学年主任 三輪 恭之

その一言で 励まされ
その一言で 夢を持ち
その一言で 腹が立ち
その一言で がっかりし
その一言で 泣かされる
ほんのわずかな 一言が
不思議に 大きな力持つ
ほんの一寸の 一言で

言葉には温度がある。自分では何で
もない一言が、人の感情を左右したり
人生を変えたりすることがある。だか
らこそ、言葉は選んで発したい。「先
生のあの一言で頑張れました。一であ
ればよいが、逆のときは、お互いが辛
い思いをすることになる。

また、一度発せられた言葉は取り消
すことができない。だからこそ、よく
考えて発することも心に留めて
おきたい。

中学卒業時に、恩師に大切にしてい
る言葉を卒業アルバムに書いてもらっ
た。恩師は丁寧に、一心不乱と書い
た。「何事も一心不乱に取り組むこと
によって、いろんな道が開かれ、自分
の成長につながる。頑張つてね。」と
付け加えた。以来、そのことを胸に歩
んできた。自分が発するその一言には、
大きな力もっていることを常に意識
してこれからも生活をしたい。